

平成30年度 京都市域地域医療構想調整会議

第2回Dブロック意見交換会

日 時：平成30年12月28日（金）14:00～16:00

場 所：京都府医師会館 310 会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議事

- (1) 地域における医療機関の機能について（病院機能MAP）
- (2) 各病院から「病院の役割と今後について」発表
- (3) 地域における各病院の役割について意見交換（各病院間、各団体間）

4 閉会

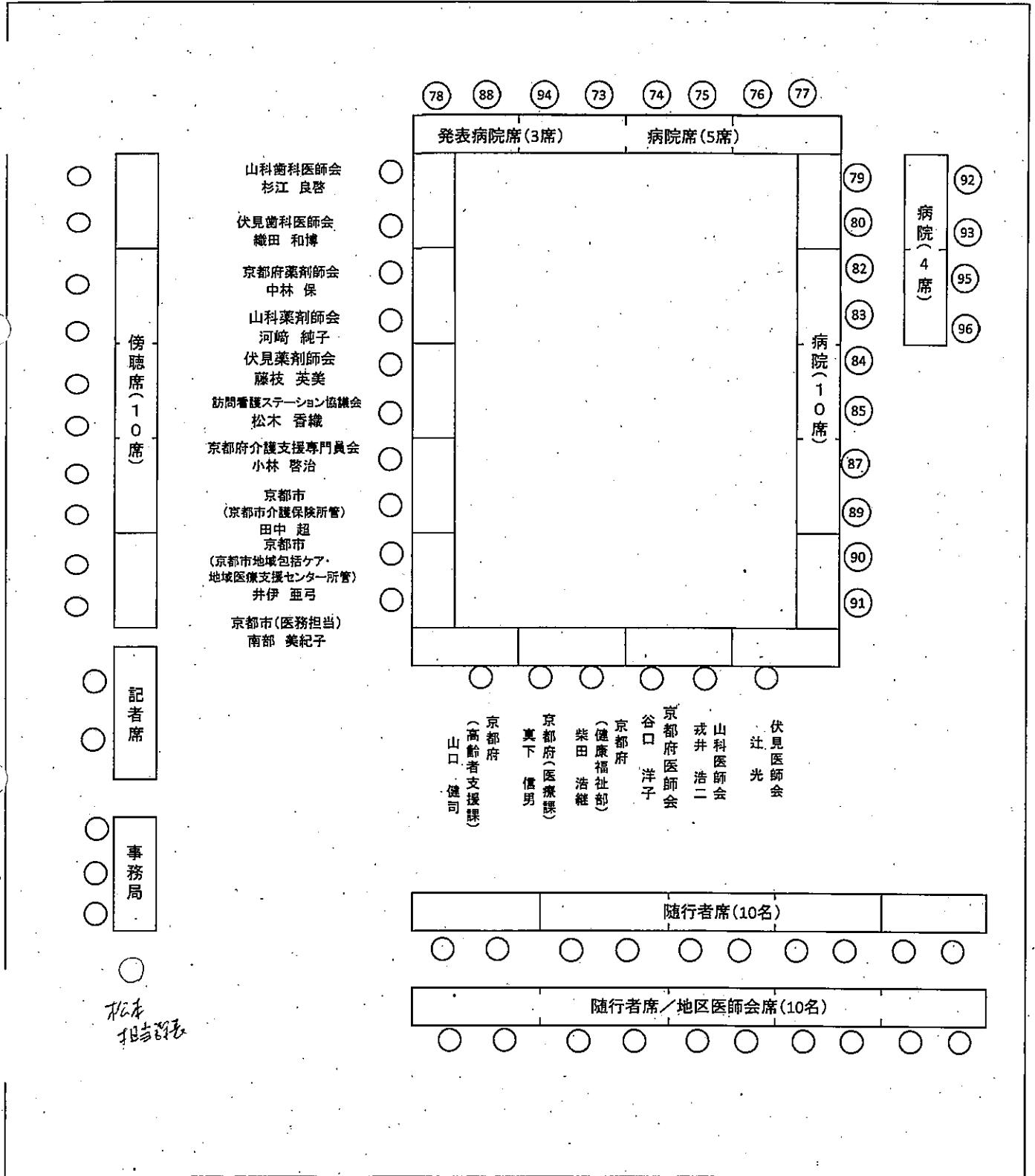
【第2回】京都市ブロック部会出席者一覧(団体)

	団体名	役職名	就任者名
D ブ ロ ッ ク	京都府医師会	理 事	谷 口 洋 子 (座 長)
	山科医師会	会 長	戎 井 浩 二
	伏見医師会	会 長	辻 光
	山科歯科医師会	会 長	杉 江 良 啓
	伏見歯科医師会	会 長	織 田 和 博
	京都府薬剤師会	理 事	中 林 保
	山科薬剤師会	会 長	河 崎 純 子
	伏見薬剤師会	会 長	藤 枝 英 美
	京都府訪問看護ステーション協議会	—	松 木 香 織
	京都府介護支援専門員会	副 会 長	小 林 啓 治
	地域包括支援センター (介護保険、地域包括ケア・地域包括支援センター所管)	長 寿 企 画 課 担 当 課 長	井 伊 亜 弓
		介 護 ケ ア 推 進 課 担 当 課 長	田 中 超
	京都市(医務担当)	医 務 衛 生 課 担 当 課 長	南 部 美 紀 子
	京都府	健 康 福 祉 部 副 部 長	柴 田 浩 継
医 療 課 担 当 課 長		真 下 信 男	
高 齢 者 支 援 課 副 課 長		山 口 健 司	

京都市ブロック部会出席者一覧

No.	施設名	役職名	出席者名	
山科	73 医療法人十全会 京都東山老年サナトリウム	院 長	赤 木 厚	
	74 医療法人社団洛和会洛和会音羽病院	管 理 部 長	八 木 利 之	
	75 一般社団法人 愛生会山科病院	院 長	加 藤 隆 弘	
	76 医療法人社団洛和会洛和会音羽リハビリテーション病院	管 理 部 長	小 西 宏 樹	
	77 医療法人恵仁会なぎ辻病院	理 事 長	小 森 直 之	
	78 医療法人社団洛和会 洛和会音羽記念病院	管 理 部 長	花 山 慎 一	
	79 加藤山科病院	事 務 部 課 長	黒 田 寿	
D ブ ロ ッ ク	80 独立行政法人国立病院機構京都医療センター	企 画 課 長	大 西 逸 馬	
	81 京都市桃陽病院	欠 席		
	82 医療法人新生十全会 なごみの里病院	理 事 長・院 長	赤 木 博	
	83 医療法人医仁会 武田総合病院	事 務 長	宝 輪 克 博	
	84 医療法人社団蘇生会 蘇生会総合病院	院 長	長 澤 史 朗	
	85 社会福祉法人浩照会伏見桃山総合病院	院 長	本 庄 英 雄	
	86 医療法人五木田病院	欠 席		
	87 社会医療法人弘仁会大島病院	地域医療連携室 室 長	飯 村 弘 徳	
	88 医療法人社団淀さんせん会 金井病院	経 営 管 理 部 長	貞 由 憲 男	
	89 医療法人健幸会むかいじま病院	地域連携室 事務	新 田 真 也	
	90 一般財団法人仁風会京都南西病院	院 長	清 水 聰	
	91 医療法人社団松ヶ崎記念病院	欠 席		
	92 医療法人松寿会 共和病院	事 務 局 長	小 谷 美 津 彦	
	93 伏見岡本病院	院 長	高 木 敏 貴	
	94 医療法人清水会 京都リハビリテーション病院	事 務 部 長	黒 田 正 博	
	95 医療法人財団医道会稲荷山武田病院	医 事 部 長	高 杉 則 男	
	96 特定医療法人桃仁会病院	事 務 長	藤 井 本 龍 弘	
	伏見			

地域医療構想調整会議 Dブロック意見交換会



【Dブロック】第2回ブロック会議発表資料

行政区	病院名	ページ番号
山科区	医療法人社団洛和会 洛和会音羽記念病院	1 ~ 2
伏見区	医療法人社団淀さんせん会 金井病院	3 ~ 4
	医療法人清水会 京都リハビリテーション病院	5 ~ 6

病院の役割と今後について

【基本情報】

病院名	医療法人社団洛和会 洛和会音羽記念病院				
所在地	京都市山科区小山镇守町 29 番 1				
許可病床数	133 床 (一般病床、療養病床の合計)				
病床の種別 (非稼働病床)	一般 102 床 (0 床)	医療療養 31 床 (0 床)	介護療養 床 (床)		
主な診療科目 (上位 3 つ)	腎臓内科	人工透析内科	内科		
病床機能	高度急性期 床	急性期 102 床	回復期 床	慢性期 31 床	
主な病院機能	透析医療 (外来透析 146 床) 在宅療養あんしん病院等支援事業を担う病院 ・一般入院基本料 4 (10 対 1) ・療養病棟入院基本料 1 (20 対 1) ・障害者施設等入院基本料 ・人工腎臓 ・透析液水質確保加算 2				

例示

- ① 周産期医療〇〇病院 (センター)
- ② 救命救急センター (三次)
- ③ 救急告示病院
- ④ 地域災害拠点病院
- ⑤ 原子力災害拠点病院
- ⑥ へき地医療拠点病院
- ⑦ 在宅支援を担う病院 (在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院)
- ⑧ 地域がん診療拠点病院
- ⑨ 脳卒中 (急性期)・(回復期)・(維持期) を担う病院
- ⑩ 急性心筋梗塞 (急性期)・(回復期) を担う病院
- ⑪ 難病医療協力病院
- ⑫ エイズ拠点病院

【現状と今後について】

<p>自施設の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・腎疾患の治療に特化した腎臓病治療の総合専門病院。透析シャント増設や修復、経皮的血管形成術（PTA）などのブラッドアクセス治療の緊急手術や緊急受入れ等の医療を提供 ・慢性維持透析患者の外来透析医療の提供 ・慢性腎不全等に対する腎臓内科外来診療とシャントトラブルに対するブラッドアクセス外来診療 ・フットケアの提供
<p>自施設の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区医師会等との連携をより一層強化し、地域の病院としての役割分担を行う ・PAD、腎移植、透析など多様なニーズに対応した医療体制 ・看護補助者の不足による、看護師への業務負担増加 ・医師の高齢化に伴う若手医師の育成と技術伝承
<p>地域において今後担う役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・透析医療を中心として、病診・病病連携ネットワークの構築と医療介護連携の強化 ・介護施設等との連携により、透析があっても住み慣れた地域で継続した在宅生活を支援
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した透析医療の提供 ・先進的な透析医療の提供（フットケアやオンライン HDF、低栄養患者への積層型ダイアライザーなど） ・ブラッドアクセス治療のさらなる発展を

病院の役割と今後について

【基本情報】

病院名	医療法人社団淀さんせん会金井病院			
所在地	京都市伏見区淀木津町612-12			
許可病床数	151床（一般病床、療養病床の合計）			
病床の種別 （非稼働病床）	一般 110床 （0床）	医療療養23床 （0床）	介護療養18床 （0床）	
主な診療科目 （上位3つ）	内科	整形外科	神経内科	
病床機能	高度急性期 0床	急性期110床	回復期 床	慢性期41床
主な病院機能	③救急告示病院 ⑦在宅支援を担う病院（在宅療養支援病院）			

例示

- ①周産期医療〇〇病院（センター）
- ②救命救急センター（三次）
- ③救急告示病院
- ④地域災害拠点病院
- ⑤原子力災害拠点病院
- ⑥へき地医療拠点病院
- ⑦在宅支援を担う病院（在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院）
- ⑧地域がん診療拠点病院
- ⑨脳卒中（急性期）・（回復期）・（維持期）を担う病院
- ⑩急性心筋梗塞（急性期）・（回復期）を担う病院
- ⑪難病医療協力病院
- ⑫エイズ拠点病院

【現状と今後について】

<p>自施設の現状</p>	<p>○救急告示病院として救急患者の受入を行う急性期機能を持ち、また、障害者病棟と療養型病棟を有する慢性期機能も兼ねた地域医療ニーズに対応できる体制を取っています。</p> <p>○家庭医療センターを創設し、地域の救急患者等の受入並びに赤ちゃんからお年寄りまで男女臓器に関わらず様々な健康問題に対応しています。</p> <p>○救急患者の入院対応のみならず、地域包括ケア病棟の運営により住み慣れた町で生活していただくため、入退院調整ナースを設置し在宅復帰へも力を入れている。</p> <p>○在宅療養支援病院として在宅ケアセンターの専属の医師が訪問診療を提供し、関連の訪問看護ステーションからの訪問看護でのフォローもしています。</p>
<p>自施設の課題</p>	<p>○地域の病院として、引き続き救急医療を含め地域医療の役割を担うとともに、地域の介護施設・福祉施設等と連携を一層強化し、医療・介護・予防・教育を提供します。</p>
<p>地域において今後担う役割</p>	<p>○救急医療・在宅医療・予防医療を重点項目として提供してきましたが、今後も地域包括ケアシステム構築に向け地区医師会、地域の介護・福祉施設、地元自治連合会等との連携を更に強化していきます。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>○本年4月から地域包括ケア病棟を開設し運営していますが、更に地域の方々が利用しやすい、また地域のニーズに沿った対応を近隣関係施設等と検討相談し構築していく。</p> <p>○強化型の在宅支援病院、訪問看護ステーションをもっと利用していただけるよう体制を整備し、時々入院ほぼ在宅をもっと展開していきたい。</p> <p>○地域包括ケアに必要と考える、多職種協働を進めるために、連携教育（IPE）アドバイザーを創設し、連携・協働の質、ケアの質を向上させるため、共に学び、お互い学び合うことを進めていきたい。</p>

病院の役割と今後について

【基本情報】

病院名	医療法人清水会 京都リハビリテーション病院			
所在地	京都府京都市伏見区深草越後屋敷町 17			
許可病床数	64 床（一般病床、療養病床の合計）			
病床の種別 （非稼働病床）	一般 ○床 (○床)	医療療養 ○床 (○床)	介護療養 ○床 (○床)	
主な診療科目 （上位3つ）				
病床機能	高度急性期 ○床	急性期 ○床	回復期 64 床	慢性期 ○床
主な病院機能	回復期を担う病院			

例示

- ① 周産期医療〇〇病院（センター）
- ② 救命救急センター（三次）
- ③ 救急告示病院
- ④ 地域災害拠点病院
- ⑤ 原子力災害拠点病院
- ⑥ へき地医療拠点病院
- ⑦ 在宅支援を担う病院（在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院）
- ⑧ 地域がん診療拠点病院
- ⑨ 脳卒中（急性期）・（回復期）・（維持期）を担う病院
- ⑩ 急性心筋梗塞（急性期）・（回復期）を担う病院
- ⑪ 難病医療協力病院
- ⑫ エイズ拠点病院

【現状と今後について】

<p>自施設の現状</p>	<p>○許可病床 64 床全てを回復期リハビリテーション病棟として運営しており、グループ内にも急性期病床をもっていない、回復期リハビリテーションに特化した病院です。</p> <p>○訪問リハビリテーションの運営や、介護老人保健施設、特別養護老人ホームを併設しており急性期治療以降の治療や介護サービスの提供を実施できる体制を整えています。</p>
<p>自施設の課題</p>	<p>○質の高いリハビリテーションを提供するとともに、回復期以降の介護保険サービス（施設サービス、在宅サービス）について、グループ内外と連携し地域完結型を目指す。</p> <p>○急性期からの受け入れ、生活期や介護保険サービスへの移行をスムーズに行えるよう、地域の急性期、回復期、生活期や介護保険サービスとの連携を強化する。</p>
<p>地域において今後担う役割</p>	<p>○地域におけるリハビリテーションの情報発信源として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質の高いリハビリテーションの提供 ・ 入院治療後のリハビリテーションを中心としたフォローアップ ・ 生活期、介護保険サービスの把握と情報提供 ・ 市民講座等を通じたリハビリテーション情報提供
<p>今後の展望</p>	<p>病床機能の変更や検討については、現状考えておりません。平成 28 年度に病床機能を急性期から回復期へ変更いたしましたので、まずは質の高いリハビリテーションを提供していくことを目標と考えております。</p>